

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
保健	2	1	現代高等保健体育（大修館）	現代高等保健体育ノート（大修館）
到達目標 心身の機能、健康と環境、集団の生活における健康について理解を深めさせ、健康の保持増進をはかり、集団の健康を高めることに寄与する態度を養う。				

評価の観点	評価の内容
a 学びに向かう力 人間性等	個人生活や社会生活における健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践していくために、意欲的・積極的に学習に取り組もうとしている。
b 思考・判断・表現	個人生活や社会生活における健康や安全に関する課題の解決を目指して、総合的に考え、選択すべき行動を適切に判断するなどの適切な意思決定や行動選択ができる。
c 知識・技能	健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的基本的な事項を理解し、知識を身につけている。
評価の方法	
各定期考査、小テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	1	オリエンテーション 3 単元 「生涯を通じる健康」				10		4 単元 「健康を支える環境づくり」			
5	1	1 ライフステージと健康	○			11	1				
	2	2 思春期と健康		○			2	1 大気汚染と健康	○		
	2	3 性意欲と性行動の選択			○		2	2 水質汚濁・土壌汚染と健康			○
6	2	4 妊娠・出産と健康		○		12	1	3 環境と健康にかかわる対策		○	
	2	5 避妊法と人工妊娠中絶		○			4	4 ゴミの処理と上下水道の整備	○		
	1	6 結婚生活と健康	○				1	5 食品の安全性			○
7	1	7 中高年期と健康			○	1	1	6 食品衛生にかかわる活動		○	
	1	8 働くことと健康			○		1	7 保健サービスとその活用		○	
	1	9 労働災害と健康	○		○		1	8 医療サービスとその活用	○		
8	2	10 健康的な職業生活			○	2	2	9 医薬品の制度とその活用			○
							1	10 さまざまな保健活動や社会的対策		○	
	9							3	1 11 健康に関する環境づくりと社会参加	○	
								※外部講師招聘			
							1	薬物乱用防止教室			
							2	心肺蘇生法			
							1	交通安全教室			
							2	性に対する講演会			
						計 3 5					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 教科書・ノートを忘れず、授業を受ける際のルールを守ること。
--